



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月17日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 古田 光浩

TEL 052-775-8000

四半期報告書提出予定日 平成26年7月24日

配当支払開始予定日

平成26年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	6,201	12.9	934	29.2	943	28.8	570	31.2
25年12月期第2四半期	5,493	13.6	723	9.7	732	9.7	434	7.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	86.02	—
25年12月期第2四半期	65.55	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年12月期第2四半期	9,433	1,142.44	7,574	80.3	80.3	1,142.44
25年12月期	8,755	1,068.73	7,085	80.9	80.9	1,068.73

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 7,574百万円 25年12月期 7,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	24.00	—	13.00	37.00
26年12月期	—	13.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年12月期第2四半期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	15.1	1,980	29.7	2,000	29.3	1,210	37.4	182.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	6,630,000 株	25年12月期	6,630,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期2Q	257 株	25年12月期	216 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	6,629,778 株	25年12月期2Q	6,629,847 株
-----------	-------------	-----------	-------------

(注)当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手されている情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待感や日銀の金融政策を背景に、企業業績の改善、設備投資の回復、雇用拡大へと繋がり、景気は回復・拡大基調で推移いたしました。

外食産業におきましては、消費税増税後の消費マインドの減退が懸念されておりましたが、雇用・所得環境の改善も寄与し、影響は限定的で堅調に推移いたしました。しかしながら人材不足や人件費の高騰、原材料価格やエネルギーコストの高騰を抱えており、業界を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。

当社ではこのような環境の下、消費税増税を機にお客様の外食に対する期待と店舗選別の厳しさはより高まるものと判断し、当社のコンセプトである「ご馳走レストラン」をより支持いただけるチャンスと捉え、商品開発、新規出店による新規顧客の獲得、店舗改装等の既存店活性化に取り組みました。

商品開発面では、「価値づくり」をテーマに新商品の開発に取り組みました。主力のオージービーフの他に世界各国の牛肉を現地視察し新規開拓に努め、その商品化に取り組みました。その結果、関東地区期間限定でアメリカ産「ミッドウエスタンリブロースステーキ」等を導入し、客単価増に寄与いたしました。既存商品についても新規顧客をリピーターとすべく、妥協することなく商品開発会議を重ねてまいりました。人気のハンバーグメニューである「ブロンコハンバーグ」を3月より、「がんこハンバーグ」を5月より、更に美味しくするための品質向上に成功し、客数増に寄与いたしました。

新規出店では、関西地区に初出店となる彦根店(滋賀県)、東京23区内の北綾瀬店(足立区)等の5店舗を計画通りに出店し、店舗数は78店舗となりました。また新店の業績は順調に推移しております。更に10店舗の改装を実施し既存店活性化に取り組みました。

以上の結果、売上高62億1百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益9億34百万円(同29.2%増)、経常利益9億43百万円(同28.8%増)、四半期純利益5億70百万円(同31.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は94億33百万円(前事業年度末87億55百万円)となり6億77百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が91百万円及び新規出店等により有形固定資産が4億43百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は18億59百万円(前事業年度末16億70百万円)となり1億88百万円増加いたしました。その主な要因は、未払金が88百万円及び未払法人税等が66百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は75億74百万円(前事業年度末70億85百万円)となり4億88百万円増加し、自己資本比率は80.3%(前事業年度末80.9%)となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払いにより利益剰余金が4億84百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、28億69百万円（前事業年度末27億98百万円）となり、70百万円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は8億53百万円（前年同期比0.1%増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益を9億40百万円及び減価償却費を2億23百万円計上した一方、法人税等を2億97百万円支払ったこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は6億95百万円（前年同期比80.3%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が5億78百万円及び建設協力金の支払による支出が70百万円あったこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は86百万円（前年同期比26.5%増）となりました。これは主に、配当金の支払額が86百万円あったこと等によります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績や現時点での当社を取り巻く経営環境などを勘案した結果、平成26年1月16日に公表いたしました平成26年12月期通期の予想を修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,635,449	3,726,532
売掛金	84,072	83,822
商品及び製品	52,931	28,713
原材料及び貯蔵品	132,678	185,722
その他	162,485	181,755
流動資産合計	4,067,617	4,206,546
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,616,013	2,998,401
構築物(純額)	251,203	285,109
工具、器具及び備品(純額)	330,260	392,161
土地	276,207	276,207
その他(純額)	169,855	135,510
有形固定資産合計	3,643,541	4,087,391
無形固定資産	87,511	103,707
投資その他の資産		
差入保証金	659,096	722,217
その他	297,979	313,294
投資その他の資産合計	957,076	1,035,511
固定資産合計	4,688,128	5,226,610
資産合計	8,755,746	9,433,157
負債の部		
流動負債		
買掛金	284,002	295,959
短期借入金	110,878	113,336
未払金	498,430	586,831
未払法人税等	313,542	379,983
賞与引当金	21,499	20,006
販売促進引当金	24,725	18,451
資産除去債務	2,500	-
その他	168,840	127,151
流動負債合計	1,424,418	1,541,719
固定負債		
資産除去債務	207,560	220,300
その他	38,312	97,026
固定負債合計	245,872	317,326
負債合計	1,670,291	1,859,046

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	5,557,810	6,041,898
自己株式	△325	△427
株主資本合計	7,074,159	7,558,145
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,295	15,965
評価・換算差額等合計	11,295	15,965
純資産合計	7,085,454	7,574,110
負債純資産合計	8,755,746	9,433,157

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,493,099	6,201,448
売上原価	1,502,553	1,711,202
売上総利益	3,990,545	4,490,246
販売費及び一般管理費	3,267,121	3,555,585
営業利益	723,424	934,661
営業外収益		
受取利息	942	1,422
受取配当金	1,321	1,262
受取賃貸料	11,340	11,040
受取保険金	1,161	1,490
協賛金収入	5,523	6,283
その他	2,286	932
営業外収益合計	22,575	22,430
営業外費用		
支払利息	457	418
賃貸費用	10,586	10,574
その他	2,392	2,257
営業外費用合計	13,435	13,251
経常利益	732,563	943,841
特別利益		
固定資産売却益	2,000	-
特別利益合計	2,000	-
特別損失		
固定資産除売却損	919	2,846
特別損失合計	919	2,846
税引前四半期純利益	733,644	940,994
法人税、住民税及び事業税	293,636	363,928
法人税等調整額	5,397	6,790
法人税等合計	299,033	370,719
四半期純利益	434,610	570,275

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	733,644	940,994
減価償却費	200,569	223,067
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,754	△1,493
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	△5,919	△6,274
受取利息及び受取配当金	△2,263	△2,684
支払利息	457	418
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,080	2,846
たな卸資産の増減額 (△は増加)	73,592	△28,825
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,275	250
長期前払費用の増減額 (△は増加)	3,348	△8,545
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,794	11,957
未払金の増減額 (△は減少)	95,887	78,370
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25,751	37,756
その他	9,863	△99,365
小計	1,155,123	1,148,473
利息及び配当金の受取額	2,263	2,684
利息の支払額	△457	△425
法人税等の支払額	△305,118	△297,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	851,810	853,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,853	△20,145
有形固定資産の取得による支出	△363,807	△578,778
有形固定資産の除却による支出	△919	△8,769
有形固定資産の売却による収入	2,000	-
無形固定資産の取得による支出	△5,544	△23,345
差入保証金の差入による支出	△23,130	△24,785
差入保証金の回収による収入	5,000	10,540
預り保証金の返還による支出	△600	△1,425
建設協力金の支払による支出	△21,000	△70,000
建設協力金の回収による収入	10,874	21,124
保険積立金の解約による収入	31,132	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△385,848	△695,584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	24,459	2,458
リース債務の返済による支出	-	△2,462
自己株式の取得による支出	△213	△102
配当金の支払額	△92,635	△86,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,390	△86,513
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	397,572	70,936
現金及び現金同等物の期首残高	2,191,140	2,798,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,588,713	2,869,476

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。